



## 今時の思い

加茂谷中学校が台風11号で受けた浸水被害の映像が、度々テレビで放映されています。大変な水害に驚くと同時に、次々といろんな昔のことが思い浮かびました。

加茂谷中学  
校は私の母校  
です。昔の校  
舎は今より高  
い山すそに沿  
って建ってい  
たように思い  
ます。



橘町  
児玉ミヤエさん

れたでしょうか。急流で水深も深かったため、舟の上では縁につかまって静かに座っていました。両岸は滑車を付けたワイヤーで結ばれ、それに沿って櫓を漕ぐさまは、まさに「村の渡し」の船頭さんは今年60のおじいさん」という童謡どおりの光景でした。岸辺には四季折々の花が咲き、子ども心にすてきな眺めだと感じていました。目を閉じればナカガワノギクが香る気がします。

しかし、今年  
の台風11号  
の被害の源も、  
同じ那賀川で  
した。一日も  
早く、元の生  
活に戻れます  
よう念じています。

また、家の近く的那賀川にも、たくさん思い出があります。夏は水泳や魚釣りをしたものです。当時の那賀川は、深い川底の小石も見えるほどきれいでした。  
小学生の頃、渡し舟で通学していました。土手の手前に船頭さんの小屋があり、渡し場までは砂利の小道が作られていました。船頭さんは少人数でも必ず渡してくれるほど優しく、木造の舟は10人も乗

私も、いつの間にか童謡の船頭さんより一回りも年上になりましたが、夫婦ともに元気です。以前のように登山はできませんが、由緒ある古道や街道歩き、家庭菜園、海外旅行を楽しんだりした後は、少しづつ身の回りの整理もしなくてはと思うこの頃です。  
次回は、宝田町の松田五郎さんをお願いします。

## 市民文芸

### 短歌

阿南市春季短歌大会選

吹きあげる川風に散る山茶花の花びら積みて  
いよ露に  
矢野 道子

こぶし咲く池の陽だまり金魚群れ背よせ合い  
てしばし動かず  
近藤 芙美  
佐野 幸子

ここの娘の車庫になると切られたる桃の木  
いくつ春迎えたる  
福崎 孝子

木蓮の声紛るるや小夜嵐散らばう無垢の踏む  
をためらふ  
佐々木夫美

草を刈る音に目覚むる朝まだき健やかにわれ  
山峽に生く  
吉谷 富穂

老いてゆく日々の食事は美味しく嫁への感謝  
「ごちそうさま」と  
近藤美智子

降る雪の積るがままに水仙は花かたむけて香  
り放てり  
近藤美智子

### 俳句

阿南市俳句連合会選

師の逝けり面影偲ぶ観月茶  
河内 順子

初秋や二重丸書くカレンダー  
峰 敏勝

去ぬ燕ひたすら託す老いの夢  
神野 ゆき

曼珠沙華赤押し上げて押し上げて  
加藤 和子

露草の一叢残る出水跡  
湯村 陽子

ひぐらしや鳴きつまずきて葉をゆらす  
佐野八重子

冬瓜や厨の角に置きしまま  
清原 栄子

神主のアポロの話観月会  
中川よし子

踊子の化粧直すや棧敷口  
近藤 まい

秋の声暮しのリズム取り戻す  
宮繁ただし

### 川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

天命に任せて生きてゆく素足  
湯浅 三子

ぼちぼちと気力貯え生きる欲  
田上 鶴子

誰彼と愛想美人の罪作り  
武田 敏子

どこへでも行きたい足が病んで  
鈴木レイ子

好きだからあなたの名前忘れない  
林 満子